

研修 評価

研修名	学生の臨床判断能力育成に向けた実習指導方法を検討する				
領域	資格認定教育	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	看護教員、臨地実習指導者養成講習会修了者 募集数(25 人) 応募数(23 人)参加数(20 人)会員数(16 人)非会員数(4 人)				
日 時	令和 5 年 11 月 25 日 (土曜日) 10:00 ~ 16:00				
ねらい (目標)	1. 専任教員として学生の臨床判断能力育成に向けた実習指導方法を検討し、実際の実習指導に活かす。				
講 師	山下 暢子 群馬県立県民健康科学大学大学院看護学研究科看護学専攻 教授				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <p>1) 講義：学生の臨床判断能力の育成に向けた指導に役立つ知識（臨床実習指導者との連携の在り方など）</p> <p>2) 演習（グループワーク） 臨地実習における臨床判断能力の育成に向けた実習指導方法の実際についてその方法を検討する。</p> <p>○研修方法 講義 演習（グループワーク）</p>				
結果・評価 (受講者の意見感想)	<p>○評価方法：アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度（理解できた・ほぼ理解できた）100% ・受講者の満足度（満足できた・ほぼ満足できた）100% ・自己課題の達成度（達成できた・ほぼ達成できた）100% <p>○感想・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を考えると難しかったが、普段実践していることとつなげるとわかりやすかった。 ・グループワークは時間がタイトでしっかり考えることが難しかった。 ・臨地実習指導者養成講習会後にふさわしい研修であった。 				
企画の評価	<p>○目標・内容 アンケート結果からも講義内容妥当であったが、グループワークの時間配分は調整が必要である。</p> <p>○プログラムの妥当性 ねらいとの整合性 整合性があったと 100%の回答であり、妥当であった。 ○次年度も臨地実習指導者養成講習会終了後に開催すると効果的と考える。</p> <p>○事前準備・当日の運営など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクの音量が小さかったため、事前に音量の確認が必要であった。 				
課 題	・講義とグループワークの時間配分について、講師と検討する。				
担当者	看護協会				